

2026 年 9 月 10 日
TOPPAN 株式会社

**TOPPAN、レトルト食品向け ALL-PP モノマテリアルパウチが
「2026 日本パッケージングコンテスト」で最高位の「ジャパンスター賞」を受賞**
リサイクル適性向上への寄与や包材製造時の CO₂ 排出量を削減する技術が評価

TOPPAN ホールディングスのグループ会社である TOPPAN 株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:野口 晴彦、以下 TOPPAN)のレトルト食品向け ALL-PP モノマテリアルパウチ(以下、本パウチ)を採用したレトルトカレー「未来の JAPANESE CURRY」が、公益社団法人日本包装技術協会主催の「2026 日本パッケージングコンテスト(※1)」において、最高位である「ジャパンスター賞」の一つ「消費者団体推進賞」を受賞しました。同商品は、エスビー食品株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長 CEO:大久 陽子、以下 エスビー食品)と大阪公立大学の大学生が共同開発し、大阪・関西万博で展示・配布されたものです。

本パウチは、TOPPAN が 2022 年 10 月に開発した、透明バリアフィルム「GL BARRIER(※2)」シリーズのラインアップであるポリプロピレン(以下、PP)フィルムを活用し、使用するプラスチックフィルムを全て PP ベースにしたレトルト対応モノマテリアル(単一素材)パウチです。PP ベースの単一素材構成にすることで、従来のアルミ箔などの複数素材で構成される包材と比較してリサイクル適性の向上に寄与するとともに、包材製造時の CO₂ 排出量を約 5%削減(※3)できます。今回、これらの環境負荷低減に貢献する技術が高く評価され、本賞の受賞に至りました。



表彰式の様子

左: TOPPAN 株式会社 生活・産業 BU 加藤 仁志

右: エスビー食品株式会社 研究開発推進ユニット 富田 裕二

■ 開発の背景

持続可能な社会の実現に向けて、日本のプラスチック資源循環促進法のみならず、欧州の PPWR(※4)をはじめとするグローバルな環境規制が強化されています。資源循環に向けた取り組みとして、単一素材化によるモノマテリアルパッケージへの転換が、多くの企業にとって重要な検討課題となっています。

TOPPAN グループは、パッケージを起点としたサステナブルブランド「SMARTS™(スマーツ)」を立ち上げ、市場からの要求品質に応えつつ環境適性を高めた環境配慮型パッケージの開発を行っていま

す。レトルト食品向け包材は高温加熱殺菌への耐性や高度なバリア性が求められるため、モノマテリアル化の難易度が高い領域ですが、独自の蒸着・コーティング技術を活かしてレトルト殺菌に対応する ALL-PP モノマテリアルパウチを 2022 年 10 月に開発しました。

■ 本パウチの特長

・PP モノマテリアル構成によるリサイクル適性の向上

パッケージの構成素材を PP ベースでモノマテリアル化することにより、素材ごとの分離・回収が困難な複合素材構成のパウチに比べて、リサイクル適性の向上に寄与します。

・レトルト殺菌に対応した透明バリアフィルム

「GL BARRIER」の開発・製造を通じて培った蒸着とコーティング技術を活かし、優れたバリア性と、高温・高圧のレトルト殺菌処理に要求される耐熱・耐水性能を併せ持つ PP の透明バリアフィルムを実現しました。これにより、食品の品質や風味を長期間維持することが可能です。

・アルミ箔からの置き換えによる CO₂排出量の削減

アルミ箔を使用した一般的な複合素材構成からの置き換えにより、包材製造時の CO₂排出量を約 5% 削減することが可能です。今後、モノマテリアルパウチのリサイクル技術や回収の仕組みといったリサイクルインフラが確立された際には、再生資源として循環することでさらなる削減効果が期待されます。



受賞した ALL-PP モノマテリアルパウチ

■ TOPPAN グループのサステナブルブランド「SMARTS™」について

・サステナブルな未来に、スマートな選択を

「SMARTS™」は、パッケージを起点とした TOPPAN グループのサステナブルブランドです。パッケージで培った技術・ノウハウに、マーケティング・DX・BPO などのリソースを掛け合わせ、バリューチェーンに沿った最適な選択肢を提供します。TOPPAN は、「SMARTS™」が持つ多彩なソリューションで、ステークホルダーの皆さまとともに持続可能な社会の実現に貢献します。

URL : <https://www.toppan.com/ja/living-industry/packaging/solution/>



※1 日本パッケージングコンテスト

公益社団法人 日本包装技術協会が主催し、日本のパッケージ技術の最高水準を決定するものです。材料、設計、技術、適正包装、環境対応、デザイン、輸送包装、ロジスティクス、販売促進、アイデアなどあらゆる機能から見て年間の優秀作品（グッドパッケージング賞）を選定するコンテストです。最高賞のジャパンスター賞をはじめ、6つの包装技術賞、13の包装部門賞があります。

※2 GL BARRIER

「GL BARRIER」は TOPPAN が開発した優れたバリア性能を持つ透明バリアフィルムの総称です。独自のコーティング層と高品質な蒸着層を組み合わせた多層構造で、安定したバリア性能を発揮します。また多くの優れた特性が高い評価を受け、食品から医療・医薬、産業資材に至る幅広い分野において、世界中で採用されています。

※3 当社算定。アルミ箔を使用したラミネート包材との比較。

CO₂排出量の算定範囲はパッケージに関わる①原料の調達・製造、②製造、③輸送、④リサイクル・廃棄。

※4 PPWR

Packaging and Packaging Waste Regulation の略。EU における包装および包装廃棄物に関する規則です。

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上